

第五次蒲郡市総合計画 全体構成案 2021. 2. 24

第1編 計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

・「第四次蒲郡市総合計画」(2011～2020 年度)の計画期間が終了するため、社会経済情勢の変化、蒲郡市の課題等を踏まえて、住む人が愛着を持ち、夢と誇りを持ち続けられるまちづくりを推進するため、次期の「第五次蒲郡市総合計画」を策定

2 計画の位置づけと策定の視点

・総合計画は本市の最上位計画。総合計画に示す指針や方向に基づいて、施策や個別計画を連動して推進
 ・①市民とともに実現を目指す計画、②着実にまちづくりを進めることができる計画、③長期的な目線での戦略的にまちづくりを推進する計画として策定

3 計画の構成と期間

・令和3年度(2021 年度)～令和 12 年度(2030 年度)を目標年次とした10 年計画
基本構想: 基本理念を踏まえ、長期的な視点から本市が目指すべき将来像を明らかにするもの
基本計画: 基本構想に基づき、まちづくりを計画的に推進するための各取組の基本方針、施策の方向性、目標、指標を示す
実施計画: 基本計画で定めた諸施策を具体的にその実効性を確保して行うため、3か年ローリング方式により策定

4 社会経済情勢の変化と認識

(1)人口構造の変化

・人材不足などに対応した、安心して暮らせる環境づくり、医療・介護の連携、高齢者・女性・若者の活用などが必要

(2)経済・社会の進展

・新技術の活用を視野に、産業競争力の強化と、インバウンドなど市場開拓、地域社会における外国人との共生などが必要

(3)地域空間・インフラの変化

・公共施設の老朽化対策、空き家空き地対策が必要。

(4)安全安心な暮らしへの備え

・発生が懸念される東海・東南海地震への対策、地域における包括的なケアなどが必要

(5)自主自立のまちづくりの進展

・官民連携の導入の検討、地域自治力の強化が必要

(6)持続可能な社会の構築

・SDGs を達成していくことが求められる

5 蒲郡市の特性

・海・山の自然が豊かな自然を背景として、農林漁業から工業、商業、観光までの多様な事業が展開
 ・みかんの生産が有名で、ハウスみかんは全国有数の生産量
 ・繊維ロープ製造は日本でも有数。自動車関連、水産加工など食料品製造業の集積が高く、医療機器、光学機器、人工歯、培養皮膚・軟骨の製造や研究を進める最先端企業が立地

6 蒲郡市の現状

(1)市民アンケート調査結果

・住みやすいが約 75%、住み続けたいが約 90%
 ・施策に対する満足度が低く重要度が高い項目は、「公共交通」、「災害に強いまちづくり」、「地域医療」、「生活道路」など安心・安全にかかわる項目

(2)若者アンケート調査結果

(3)団体アンケート・ヒアリング調査結果

(4)市民ワークショップ開催結果

7 まちづくりの課題

第2編 まちづくり基本構想

1 蒲郡市民憲章に基づくまちづくり

「蒲郡市民憲章」に定められている理念を踏まえ、基本構想を実現するため、市民・事業者・行政が一丸となって進める

2 将来都市像

(1)まちづくりの基本理念

- 人と自然の共生
- 安全・安心・快適
- 一人ひとりが主役
- つながる

(2)将来都市像

豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち
 ～ 君が愛する蒲郡 ～

(3)人口

①人口の推移

1985 年(昭和 60 年)をピークに緩やかに減少、世帯数は増加を継続

②目標人口

令和 12(2030)年の目標人口を 77,000 人
 「人口ビジョン」では 2060 年の目標を 61,000 人

③年齢別人口

生産年齢人口や年少人口の減少の幅を抑制

3 基本目標

(1)笑顔つながる幸せに暮らせるまちづくり

－健康・福祉

(2)人と文化を未来につなぐまちづくり

－教育・文化

(3)豊かな自然とともに安心して住み続けられるまちづくり

－安全・安心

(4)にぎわいと元気あふれるまちづくり

－産業

(5)人と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくり

－都市基盤整備

(6)市民とともに歩むまちづくり

－地域・行財政

※施策の体系

⇒第3編2部 分野別まちづくり 参照

3 将来都市構造

(1)将来都市構造の基本的な考え方

・三河湾と山々を「自然軸」、交通ネットワークを「交通軸」として「ゾーン」を位置付け、健全で良質な都市構造を形成

(2)将来都市構造図

・「自然軸」を土台とし、蒲郡駅周辺の「心と暮らしを豊かにするコアゾーン」を中心に各ゾーンが扇状に広がる構造

(3)将来都市構造を構成する要素

第3編 まちづくり基本計画

第3編1部 まちづくり戦略

SDGs の達成に向けた取組の推進

・SDGs の取組を進めるには施策を有機的に連携させることが重要。中長期的展望で分野横断的な施策について連携して推進

1 快適な生活環境の充実

- (1) 交通ネットワークの形成
- (2) 港湾機能強化による地域活性化
- (3) 危機管理体制の充実
- (4) 魅力ある地域づくり
- (5) 公共施設の規模適正化

2 生涯活躍できる地域社会づくり

- (1) Society5.0 に向けた生活環境、生活基盤の整備
- (2) 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らせる支援の充実
- (3) 多様な地域の担い手の参画促進

3 人を引き寄せる持続可能な地域づくり

- (1) 自然環境の保全と魅力向上
- (2) シティセールス、移住・定住の推進

第3編2部 分野別計画

1 健康・福祉

- 1 地域医療
- 2 子育て支援
- 3 高齢者福祉
- 4 健康づくり
- 5 障がい者福祉
- 6 社会保障・保険分野
- 7 生活自立支援

2 教育・文化

- 1 学校教育
- 2 スポーツ
- 3 文化芸術
- 4 生涯学習

3 安全・安心

- 1 防災・減災
- 2 消防・救急
- 3 環境保全・生活衛生
- 4 交通安全・防犯
- 5 循環型社会形成

4 産業

- 1 観光
- 2 商業・サービス業
- 3 工業
- 4 農林業
- 5 水産業
- 6 ボートレース

5 都市基盤整備

- 1 公共交通
- 2 道路
- 3 下水道
- 4 港湾・河川・海岸
- 5 市街地整備・都市景観
- 6 住宅環境
- 7 水道水の安定供給

6 地域・行財政

- 1 地域コミュニティ活動・市民協働
- 2 男女共同参画
- 3 多文化共生
- 4 公共施設の適正な管理
- 5 行財政運営
- 6 開かれた市政
- 7 行政のデジタル化

第4編 基本施策とSDGsの関連

※対応表